

2019.11.28

杉並三田会 2019年忘年懇親会



11月24日（日）に杉並三田会忘年懇親会が中野サンプラザにて開催されました。

当日は、ご来賓、会員、ご家族他172名の方々が出席されました。

忘年懇親会は、コーラス同好会ヴィエントのウエルカムコーラス「この街で」に迎えられ、小室真知子さんの司会で始まりました。

実行委員長の開会宣言、服部泰代表世話人の開会挨拶と続き、ご来賓方々のご紹介の後、ご来賓代表として、慶應義塾の駒村圭吾常任理事よりご挨拶をいただきました。駒村常任理事は塾員担当のほか、学生、法学部も担当されており杉並三田会の貢献に対し3重のお礼をしないと述べられました。以前杉並区にお住いになったこともあり杉並三田会には特別な思い入れがあるとのこと。また、ヴィエントの大合唱を聞き、杉並三田会の分科会活動の盛んなことに改めて驚かれています。次いで、スケッチの会世話人の本間博さんの乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

にぎやかに懇談される中、9人の新入会員が紹介され、皆さまの温かい拍手で迎えられました。又、司会の小室さんから、ロビーに平野精士さんのご尽力により展示された分科会活動のパネルと、スケッチの会の展示が紹介されました。それぞれの展示に多くの方が熱心に見入っておられ分科会活動が活発に運営されていることがよく理解されたと思います。

この日のメインイベントは應援指導部のアトラクションです。今年初めてチアリーディング部から2名の応援があり、華やかで艶やかな演舞を披露していただき会場は一気に盛り上がりました。先日の明治神宮野球大会で慶應野球部が日本一になったこともあり、「若き血」「踊る太陽」など6曲の演舞に、時を忘れ学生時代に戻って全員が声を張り上げて熱唱しました。

盛り上がった懇談会も終盤となり、恒例の藤井研一さんの指導のもと杉並三田会の益々の発展を祈念したエール、さらに完全優勝を阻止した早稲田にもその健闘を祝しエールを送りました。これに対し杉並稲門会会長の長谷川将様から慶早の友情がさらに深まるようにとの言葉をいただきました。ついで『若き血』と『慶應讃歌』を参加者全員で肩を組み高らかに歌いました。

この後、副代表世話人の秋葉忠臣さんの閉会挨拶で締めくくられ、懇親会はあっという間ではありましたが無事終了となりました。

実行委員長 野沢次郎記